

科目	保健	学年	第1学年	開講	通年	必修	1単位
----	----	----	------	----	----	----	-----

教科書：「新高等保健体育」大修館書店

副教材：「新高等保健体育ノート」大修館書店

1.学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2.学習計画及び評価方法

- 知識技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期	保健編	現代社会と健康	1.日本における健康課題の変遷	・健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解する。 ・健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることを理解する。	4	期末	○	○	○
			2.健康の考え方と成り立ち	・健康の考え方がどのように変化してきたのか理解する。 ・健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解する。			○	○	○
			3.ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり	・ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解する。 ・健康を保持・増進する為の環境について理解する。 ・健康を保持・増進する為は適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解する。	5		○	○	○
			4.健康に関する意思決定・行動選択	・意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解する。			○	○	○
		安全な社会生活	4.応急手当の意義と救急医療体制	・応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解する。 ・救急医療体制の仕組みと社会整備の必要性、適切な利用方法について理解する。	6		○	○	○
			5.心肺蘇生法	・心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解する。 ・心肺蘇生法ができるようにする。			○	○	○
			6.日常的な応急手当	・日常生活で起こる怪我の基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。 ・熱中症の予防及び基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにする。			○	○	○
		現代社会と健康	5.現代における感染症の問題	・感染症の発生や流行には自然や社会環境が影響することについて理解する。 ・新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解する。	7		○	○	○
			6.感染症の予防	・感染症予防の三原則について理解する。 ・感染症を予防する為に必要な社会及び個人の取り組みについて理解する。			○	○	○
		前期 授業評価					○	○	○
後期	保健編	現代社会と健康	7.性感染症・エイズとその予防	・性感染症、エイズの現状と今後の課題について理解する。 ・性感染症、エイズの予防に必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。	9	期末	○	○	○
			8.生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病のリスクを軽減し予防する為に必要な個人の取り組みについて理解する。 ・生活習慣病の予防や回復の為に必要な社会の取り組みについて理解する。			○	○	○
			9.身体活動・運動と健康	・身体活動、運動と健康の関係について理解する。 ・身体活動、運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解する。	10		○	○	○
			10.食事と健康	・食事と健康の関係について理解する。 ・健康的な食生活実践に必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。			○	○	○
			11.休養・睡眠と健康	・休養、睡眠と健康の関係について理解する。 ・適切な休養、睡眠の確保に必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。	11		○	○	○
			12.がんの予防と回復	・がんにはさまざまな種類があることやがんの発生要因について理解する。 ・がんの予防や回復の為に必要な個人及び社会の取り組みについて理解する。			○	○	○
			13.喫煙と健康	・喫煙による健康への影響について理解する。 ・喫煙による健康被害の防止に必要な個人及び社会環境への対策について理解する。	12		○	○	○
			14.飲酒と健康	・飲酒による健康への影響について理解する。 ・飲酒による健康被害の防止に必要な個人及び社会環境への対策について理解する。			○	○	○
			15.薬物乱用と健康	・薬物乱用による健康及び社会への影響について理解する。 ・薬物乱用の防止に必要な個人及び社会環境への対策について理解する。	1		○	○	○
			16.精神疾患の特徴	・代表的な精神疾患の特徴や症状について理解する。 ・精神疾患の発症、回復のポイントを理解する。			○	○	○
			17.精神疾患への対応	・精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解する。 ・心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解する。	2		○	○	○
		安全な社会生活	1.事故の現状と発生要因	・様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解する。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解する。			○	○	○
		後期 授業評価					○	○	○

3.評価の観点

保健的な概念を理解し、論理的な知識の習得とその能力を身に付けることができたか評価する。
定期試験を素点とし、課題提出物の内容、授業の取り組み、出席状況等から総合的に評価する。